

どう外国人従業員を使ったら分からないという企業には、是非見習ってほしいと思います。とっても簡単なことです、仕事の《丸投げ》ですから。(^^)

さて、別の企業での話しになりますが、一方で「(外国人従業員が)業務命令に従わない」と悩む企業もあります。「どう説明をしても理解をしない」と...

これはとても難しい問題です。その理由は、生まれ育った環境、文化に根差している場合が多いからです。

たとえば家に入る際に「なぜ靴を脱がなくてはいけないのだ？」と言われたらどうでしょう？一般的には「靴は汚れているから」と答えるでしょうが、「靴を脱ぐのは寝るときと死んだときだ！」という教育を植え付けられているとしたらどうでしょう？それも宗教に根差した理由があったりしたら...

そんな相手を説得することは、「改宗」させるようなものです。

理由を説明しても理解できない相手には、冷静に「ここでは、そういうものです。あるがままを受け入れてください。」と伝えてください。それが嫌ならご辞退願えば良いのです。

良く考えてください。友達の家に遊びに行き、その家の作法が自分の家の作法と違うからといって非難するようなものです。二度とよばれないでしょう。

日本企業は、「採用」イコール「終身雇用」といって従業員を守ることに最善を尽くしますが、それは「業に従う」人に限定して良いことです。

業務指示にも従わず

「私はこの仕事に適していない」

「私の能力はここでは発揮できない」

という反応を示す人の場合は《就業規則》に基づいて返答をしてください。

一般的には就業規則に

>>会社は、この規則に定める労働条件により、労働者に就業させる義務を負う。

>>また、労働者は、この規則を遵守しなければならない。

に相当する文言があるので、これに基づき、あなたの行為は就業規則に反していると伝えることです。相手に悪気がない場合が多いだけに、心労が多いのですが、信頼関係が崩壊してしまってからでは遅いので、「何か違う」と感じたときには、なるべく早く行動を起こしてください。

改宗する必要はなくても、「あるがままを受け入れる」ことはできる。そのことさえ理解できれば、業務に励んでくれる...かもしれません。

また永遠の愛を誓い合った結婚でも、お互いの幸せのために別々の道を歩むこともあるのですから、あるがままを受け入れましょう。

2 | 勉強会・セミナー等のご案内 [事前申し込み要]

(1)《globalforce circle セミナー》のご案内

次回の第18回勉強会は、2019.10.24(木) 14:00~16:00 を予定しております。主題については、9月頃ご案内いたしますので、予定の確保をお願いいたします。

■□

■□ 多様な異文化視点を持つ globalforce(高度外国人財)を活用する

■□ ことで、「新たな価値の創造」につなげることができます。

■□ "globalforce"は企業にとって貴重な人財です。

■□

■□ しかし、多様性を受け入れることはチャレンジングなことです。

■□ 一筋縄ではいかない。障害物競走のように、いくつもハードルを超

■□ えて行かなければなりません。当研究所は、採用から活用に至るまで

■□ 企業のチャレンジをお手伝い致します。

※本メールは、当研究所関係者と名刺交換をさせて頂いた方、
セミナー等にご参加頂いた方々等、ご縁を頂いた方々にお送り
致しております。

尚、このメールが不要な場合は、大変お手数ですが下記 URL を
クリック下さい。

<http://regist.combzmil.jp/d/7dts&m=maeda@figurenet.com>

いつもありがとうございます。

┌┌┌┌┌ 異文化コミュニケーション研究所(R) (iCCC)

┌┌┌┌┌ <http://www.globalforce.link>

┌┌┌ 横浜市神奈川区青木町 3-15 SSビル 201 号室

┌┌ Tel:045-307-8248(代) FAX:045-461-1577

┌ 代表取締役社長 所長 島崎ふみひこ

(当研究所は、株式会社フィギュアネットの事業部です。)